

都市消防委員会
説明資料
(追加分)

平成30年3月15日

消防局

目 次

	頁
1 名古屋市消防団のあり方検討会における消防団詰所及び消防団車両に係る 答申について	1
(1) 詰所	1
(2) 車両	1
2 家具の固定ができるボランティアによる取付実績について	1
3 平成29年度市民3,000人アンケートにおける住宅用火災警報器の作動 確認実施状況について	2
(1) 実施の有無	2
(2) 実施結果	2

1 名古屋市消防団のあり方検討会における消防団詰所及び消防団車両に係る答申について

(1) 詰所

- ・ 学区からの助成などに頼ることなく、活動の拠点として必要な機能を保持し、安全に使用できるようにするためにも、長期的な視野で市有化に移行すべきである。
- ・ 市有化の方法の一つとして、「他の市設建築物との集約化」についても、個々の詰所の改築の時期に合わせ、個別に検討すべきである。

(2) 車両

- ・ 平常時の火災予防広報はもとより、非常災害時に避難勧告・指示などの災害緊急情報を迅速に伝達する任務があり、機動力が求められることから、全消防団への配備が理想である。
- ・ 全車両消防団所有となっているが、必要資器材として位置付けているのであれば、名古屋市が直接購入し配備するのが本来の姿である。
- ・ 一律に配備するためには、保管場所や予算確保などの課題を整理しつつ、中期的な視野で市有化に移行すべきである。

2 家具の固定ができるボランティアによる取付実績について

(単位：軒)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
取 付 実 績	87	207	254

注 平成29年度の数値は、平成30年1月31日現在の数値である。

3 平成29年度市民3,000人アンケートにおける住宅用火災警報器の作動確認実施状況について

(1) 実施の有無

区 分		件 数
実 施	過去半年以内に実施	311 (35.9%)
	アンケート調査時に実施	131 (15.1%)
未 実 施		365 (42.1%)
不 明		47 (5.4%)
無 回 答		12 (1.4%)
合 計		866

注 () 内の数値は、合計に対する割合を示す。

(2) 実施結果

区 分		件 数
異 常 な し		423 (95.7%)
電 池 切 れ ・ 故 障		10 (2.3%)
不 明		5 (1.1%)
無 回 答		4 (0.9%)
合 計		442

注 () 内の数値は、合計に対する割合を示す。